

ニッポン

ドクター和の



臨終図巻

「孤独死」という言葉が頻繁に言われるようになりました。死後の片づけ費用を補償する孤独死（孤立死）保険もあるそうです。

以前、この連載で元アイドルの川越美和さんの孤独死について書いたところ、大変な反響がありました。「私も川越さんのようになるのかな」とシングル

の女性からの不安の声も多かったです。

孤独死に医学的定義はありません。私は「誰にも看取られなかった死」と定義してお話しします。東京都監察医務院の統計

23 阿藤快



長尾和宏（ながお・かずひろ）医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。近著「葉のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

によれば、誰にも看取られなかった死として警察に届けられたケースは、7割が男性ということでした。

つまり、在宅医療をお願いしておけば、孤独死は回避できる。だけれど考えてみれば、私の在宅患者さんも独居の方はほぼ女性…。男性は死ぬまで医者嫌いという人も多く、女性に比べると他人の世話

になるのを嫌がるのでおのずと孤独死リスクが高くなってしまつたのです。

男性の孤独死といえは、個性派俳優として知られた阿藤快さんの死が思い出されます。2015年11月16日没、69歳でした。

阿藤さんは既婚者でした。しかし家族と住む家とは別に個人で使うマンションを持っていて、そこで亡くなったのです。

仕事場として隠れ家を持つことは男の夢でもあり、阿藤さんのような生活を送っている男性は意外に多いのではと想像します。

阿藤さんは死の前々日、11月14日が誕生日でした。この日にお祝

を発見しました。死後2日が経過していたということですから69歳の誕生日に亡くなったのです。

死因は大動脈破裂胸腔内出血。数日前には「背中が痛い」と言っていたそうなので、多少の自覚症状はあったようですが、暴れたり、苦しんだりした様子はなかったといひます。大動脈瘤はサイレントキラーと呼ばれるほど、自覚症状が全く進みまず。緊急手術による救命率は10〜20%程度です。

阿藤さんも死の直前までゴルフを楽しみ、バリバリ仕事をこなしていました。

孤独死は、そのほとんどが血管などの病気からくる突然死。医療のお世話にならずに死ねたということはつまり、多くの日本人が憧れる「ピンピンコロリ」なのです。

それなのに、昨今メディアが孤独死の恐怖を煽り過ぎている気もします。大切なのは頻繁にメールや電話ができる相手を3人以上持つことでしょうか。そうすれば、数日内に誰かが見つけてくれます。

孤独死は恐くない!?

生まれるときも死ぬときも、人はみなひとり。必要以上に怖がることはありません。